

——鋼構造事業について

「鋼構造事業は2016年度までの3年間をフ

アースステージとして

成長戦略に『鋼×想』力」た。15年度は受注全体の

の『鋼』の強化を掲げコ

ストダウンに注力してき

た。特殊鉄骨などの鉄構

分野ではボリウムゾー

ンであるビル鉄骨など中

難易度の案件をターゲット

トに事業を展開してきた

が、東南アジアを中心と

した海外ファブリケーター

の活用と分割発注によ

りコストダウンを実現し

た。海外ファブの活用は

鉄骨の製造管理が肝とな

るが、他事業部の製造管

理のできる人材の活用な

り重視に中難度の案件

への対応を増やしたい」

「また、BIM（ビル

ディングインフォメーシ

ョンモデリング）ソフト

新日鉄住金エンジニアリング

（下）

鋼構造事業

は想定を超える受注を獲

得することができた」

「商品分野では免制震

デバイス商品で球面すべ

る14年に市場投入した。

免震物流施設やマンショ

ン向けなど受注は非常に

好調で、3年間で累計1

千台の採用実績をあげて

建築・鋼構造事業部の戦略

村上 信行 執行役員に聞く



「セカンドステージと

「パネルブリッジ」を

弱地盤向けに耐力を高め

「鋼×想」

免制震分野で差別化

「木鋼ハイブリッド構造」推進

いる。また、組織販売の

「鋼×想」



フィリピンの特設鉄骨

「さらに、免制震分野

「鋼×想」